

家族の一体感は減少傾向 !? 家庭のキーマン・主婦の役割りはさらに重要に

【調査概要】

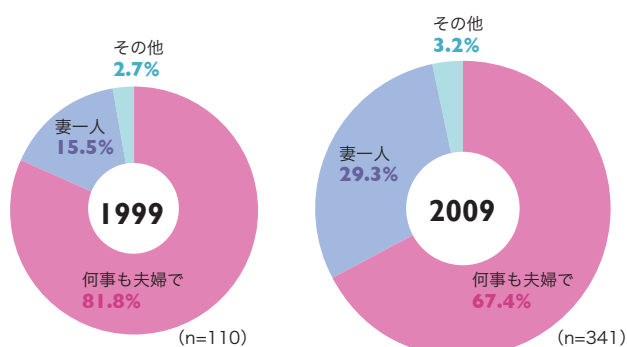
- ① 1999 年 1 月 紙面掲載調査
② 2009 年 11 月 ウェブ調査

「子供のしつけ・教育」を「妻一人で行っている」という回答が 10 年前より増加している。「食事作りをだれがするか」についても、妻（自分）が 100% 行うという人は 10 年前より増えた。

さらに、家族全員で夕食を食べる回数も週 2 回以下が半数と変化はなく、家族全員で遊ぶ遊びは、「ない」が、ぐんと増えている。子供も、夫も忙しさが加速する社会状況の中で、家族が一体感を持つ機会が減少しているのかもしれない。家族の絆を結ぶキーマンとしての主婦の役割りは、さらに重要になってくるだろう。

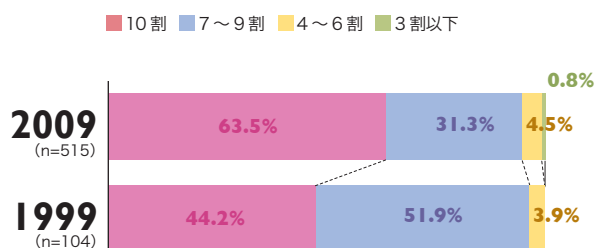
30代ミセスに聞きました

子供のしつけ・教育はだれがしますか？

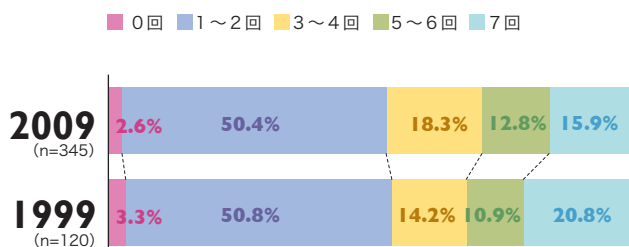


「食事作り」を、あなた(妻)がする割合は？

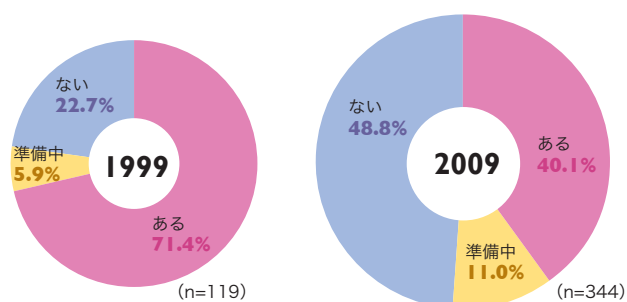
(※全体を10とした割合で回答)



家族全員で夕食を食べる回数は？(1週間に)



家族全員で遊ぶ遊びや趣味はありますか？



FROM LIVING 家族の一体感を高めるイベント情報を提供

パパの出番をママも子供も待っている！
園児とママの情報誌「あんふあん」で“パパと一緒に子育て”



幼稚園児のパパは、仕事が特に忙しい世代。毎日の育児に参加したい気持ちがあっても時間がありません。そんなパパも、機会があれば子育てにかかわりたいと考えています。園児とママの情報誌「あんふあん」では、年に一度、父の日のある6月配布号で「パパと一緒に子育て」を特集しています。また毎号の連載記事「かがくのふしぎ」では、パパと園児が身近な材料でカンタンにできる科学実験に挑戦。父と子が楽しめる情報を提供することで、家族の絆づくりに一役買っています。

父の日にあわせ、毎年6月配布号は「パパと一緒に」の特集が組まれます(2009年7月号表紙)

家族コミュニケーションを広げる
リビング新聞・親子向けインペーパー
「こどもとコレカラ」



首都圏のリビング新聞配布エリアから、小学生を持つ家庭の多いエリアを選び、そこに選別ポスティング。「学・遊・食」をテーマに、子供と地域、子供と家庭、子供と遊びを考える機会を創出するインペーパー企画が「こどもとコレカラ」。実際に家族のコミュニケーションを生む記事が満載です。(年2回発行予定)

2009年7月4日号は、「自然はトモダチ！」をテーマに、家族の夏休み情報を満載